

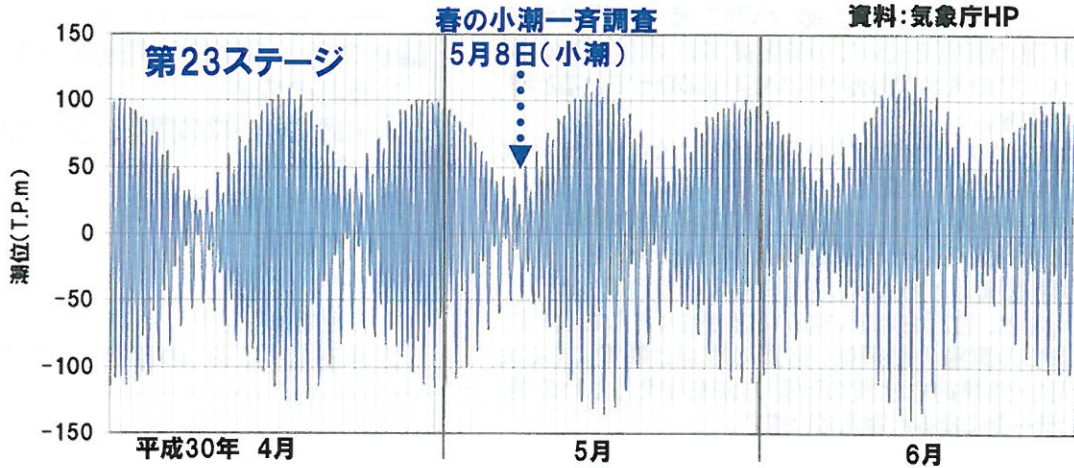
堀川1000人調査隊
第8回 堀川一斉調査

～春の小潮一斉調査～

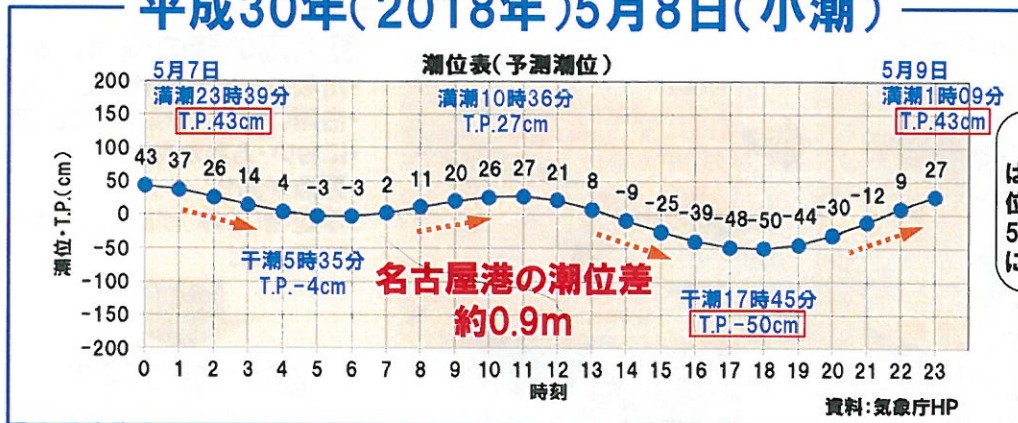
 **実施日:平成30年5月8日(火)**

- ・水位の変化が小さい時の堀川の様子を調べましょう
- ・色々な時間帯に調べて堀川の変化を確認しましょう

潮位の変化(名古屋港:平成29年4月～6月)



平成30年(2018年)5月8日(小潮)



今回の一斉調査は、名古屋港の潮位の変化が小さい5月8日(火曜日)に実施します。



(参考)平成29年(2017年)4月28日(第21ステージ 春の大潮一斉調査)



応援隊のみなさんも、自由研究隊のみなさんも、身近な場所で堀川の様子を見てください。

そして、いつ、どこで、どちら向きに流れていたなど、何でも結構です。気がついたことをメールで送ってください。

(メールアドレス)
2010@horikawa1000nin.jp

調査方法

■調査項目: 定点観測の項目(いつもの項目)

* 記録表は定点観測のものを利用してください。

■記録写真: 調査時の堀川の様子を写真で記録

記録写真は、携帯電話・スマートフォン等で撮影したもので結構です。以下のメールアドレスに送ってください。

撮影場所と時間を忘れずに書いてくださいね。

メールアドレス: 2010@horikawa1000nin.jp

調査結果は、ホームページ上の定点観測の入力フォームで報告してください。

<http://www.horikawa1000nin.jp/>



調査をしている時のみなさんの様子も撮影して、送ってくださいね。待っています。

小潮の時の名古屋港は、大潮の時と比較すると、満潮位が低く、干潮位が高く、水位の変化が少ない環境になっています。このため、小潮の時の堀川の感潮区間(潮の影響を受けている区間)は、水位の変化が少なく、水の入れ替りが少ない環境になっていると考えられます。

小潮の時のように水位の変化が少ない時には、『水の流れがどの様な変化をしているのでしょうか?』、『大潮の時のような、顕著なヘドロの露出や巻き上げなどが発生している場所はあるのでしょうか?』、『水面の浮遊物はどのような移動をしているのでしょうか?』など、確認されていないことがたくさんあります。

これらの実態の把握は、市民の視点と感覚に応じた効率的・効果的な水質の改善方法を考えるための重要なデータになると考えています。

~調査時の主な着目点~

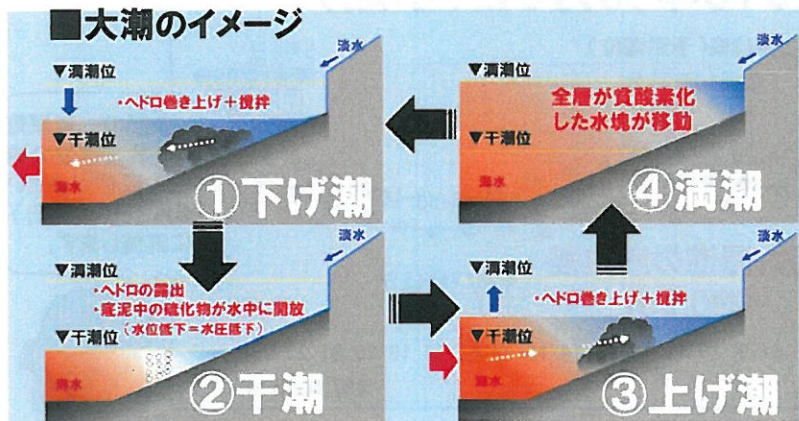
■水の汚れの印象に関する変化

- ① 流れの向き
- ② 川底のヘドロの露出・巻き上げの様子
- ③ におい・あわの発生
- ④ 色の変化

■その他の変化

- ① 生き物の様子
- ② 浮遊物(ごみ)の移動の様子

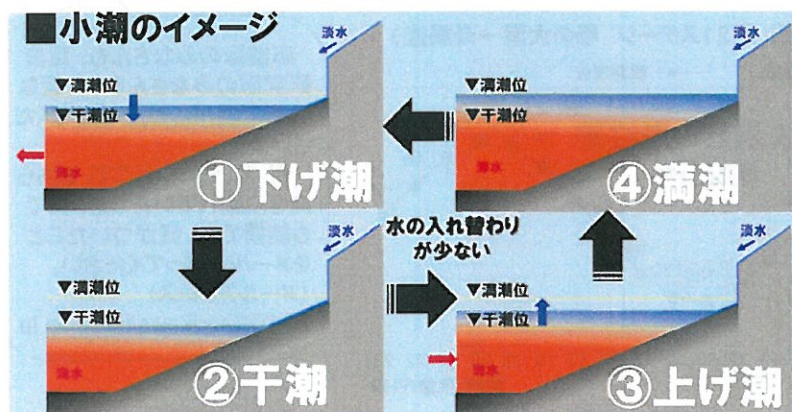
(参考) 大潮の時と比較をしながら調べてみましょう



■大潮の時の堀川の様子

- ・川底のヘドロが露出・巻き上げ
- ・白濁(青潮)・赤潮が発生・遡上
- ・におい・あわが発生
- ・死魚が発生
- ・浮遊物(ごみ)が繰り返し遡上・降下 など

■小潮の時の堀川は?



■お願い

調査の時は、安全の確保を優先してください。無理は禁物です。

調査時に気づかれたことは、記録表の『9. その他、本日の調査で気がついたことがありましたら記入してください。』に記入して、ホームページ上の定点観測の入力フォームで報告してください。

